

名古屋支部の総会
で新役員が決定す

一水会名古屋支部では、定時総会を兼ねた新年会を一月十六日午後一時より熱田区千代田町の料亭魚舟にて開き、司会役菅沼豊水氏にて総会が始まり、菅沼支部長の挨拶に続いて事業経過報告、会計報告が各担当役員より行われた。次で任期満了による役員選挙であるが選考委員五名を先ず選出して選考させる件を諮り承認、委員協議の結果左の諸氏を選出報告、これにより新役員は左の如く決定。支部長 菅沼豊水 ▲副支部長 菅沼豊水 ▲幹事 奥村慧水、水谷浩水(会計兼任)、神藤敏水、小林残水、森田紅水、谷津壮水 ▲相談役 土川吟水。

一水会富山支部
新年謡初めの会

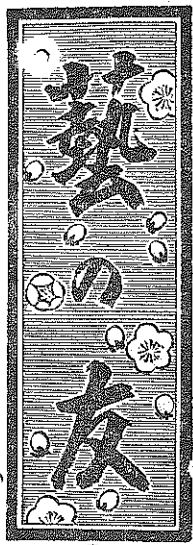
富山市の名望家田中金庫会社長田中重次(号歴水)氏支部長の一水会富山支部では一月十五日正午より市内の日枝神社会館にて新年謡初め会を催し、田中支部長、愛水夫人を始め津田、長南、戸田、川村、田添、細田、杉田、広田、杉本、稲田の各会員と、金沢より田中重水、水谷充水両来賓参加し各自演奏に楽しみ五時終了、直ちに新年懇親宴に移り親交を温めて七時過ぎ散会された。(通信)

嶺旭蝶会が
博多旭会と改名

筑前琵琶の本場九州福岡にて斯道の第一人者と定評され、この道の発展と会員の指導育成に努め、地元名士によって強力な後援会を持つ嶺旭蝶女史は、後援会員の増員と門下会員の希望もあって旭蝶会を博多旭会と改名された。嶺さんは旭会師範で教授に当られ、会長久保田秀吉、副会長福永克己両氏が運営を担当され、各顧問、顧問、相談役、理事の各役員二十五名もあり、会員も十数名もあり人気盛んであると。

馬瀬槍水師追善会

一水会大阪支部長として名声高かった故馬瀬槍水師は、逝いて三年になるが、大阪神戸両支部共同主催で三月十二日追善演奏会を開く。



新作琵琶歌
曾我龍城師作詞
土蜘蛛(つちぐも)

浮き立つ雲の今はなく、光(ひかり)輝く朝日影、武勇普(あまね)き源(みなもと)の、草木も靡く太刀風に、如何で妖魔の敵すべし。さても源頼光は、夜な夜な館(やかた)に現わる、不思議な影に悩まされ、奇(く)しき病となり給い、医禱(いとう)しきせどしるしなし。ふみ月澄める夕空の、庭の面(も)いつか雲霧の、かかして暗き憂き思ひ、心は洗む折しもあれ、さっと吹き来る風一陣。見れば怪しき僧一人、枕(まくら)辺近く佇(たつ)み、悩み給うもわがせが来べき宵なりさきに、唱えて眠(に)ら(む)願す。頼光剣取るよ、つてかかれは、忽ち姿は消えにけり。この物音に宿直(と)のいせる、保昌(やすまさ)馳せつけ綱(つな)公時(きんとき)、貞光(さだみつ)季武(すえたけ)呼び集め、憎き化生討たんとて、

琵琶特集
三月号

四の絃

子年の春を迎えた一月元且は素晴しく暖かな青天で吉瑞日であった。沖繩還還の年で国家的に喜ばしいのであるのにこれをよるこはぬ者も鼠で数を増すことを意味する。ネズミ算式に会員を増し財を富ますことを今年の願望に愛琵琶家へお薦めしたい。芸能界随一の大団体日本吟詠詩舞振興会は財団法人として組織され僅々四年で現会員二百三十余万人の偉容を整え宮様を名譽総裁に頂いている。吟界には一流一派でもあり中での会員詩吟学院岳風会の如きは三十万近くこの大多数の会員の増したの

精密部品加工業(腕時計部品) 事務機 ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売
平井精密工業 有限会社
本社 所沢市日吉町17-13 電 0429(22)3175
工場 所沢市荒幡218 電 0429(22)3660
社長 平井 円吉(洲誠)

染料・染色助剤・化学工業薬品 合成接着剤・界面活性剤・製造卸商
戸谷染料商店
社長 戸谷 曙水
本社 東京都台東区下谷2丁目8の9 電話(873)3111, 3112, 3113, 3114, 3115
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地 電話 草加 0489 ② 4955 番

最古の伝統と最高の技術
薩摩琵琶 専門製作
附属品一式
石田琵琶店
創業明治十一年
東京都港区芝巴町八番九
西久保巴町電話傳真大通り

全国学校・病院・工場給食 即席 ロークス
カレー、ハヤシ、ホワイト
給食物資製造販売
株式会社 ロークス本舗 取締役会長 稲葉新一(葵水)
取締役社長 稲葉 卓夫
本社 名古屋市中区島町2の7
営業所 名古屋市中区東通1の2
電話 代表(882)6631

お酒ご新鮮魚 大衆的実質酒場
荒井屋
友吉 澄水
東京浅草雷門横
電話(84)四二五一番

名物天ぷら 天政
北海道観光へ
札幌の名店
御宴会、御会食に 和洋中華料理
各種コース御用命を
札幌市南三条西三丁目
電話(231)2000番

昭和四十七年三月一日発行

非売品

編集発行者 鈴木 木 普 士

東京都練馬区豊玉北五ノ一 電話(九九)〇三六三番

間の藤より土蜘蛛の、怒れる姿現われぬ。我を知らずやその昔、萬城(かづらぎ)山に年を経し、土蜘蛛の精魂なり、六十余州をこごとく、魔界(まかい)にせん(はか)りしも。今は空しや口惜しと、眼むき出し数多き、拳脚蜘蛛を働かせ、千条(ちぢう)の糸を右左、雨の如くに投げかけ困じていたりしが、必死となりて打振う、太刀の光に妖術も、しどろとなりて乱るるを。得たりや応と公時が、打ち込む太刀に各々(おのおの)も、力を合せて斬りつけて、さしもの妖怪打ち果し、残る響(はまれ)を挙げにけり。四六年十月改訂。

大和魂の精神は又々生氣激刺と日本精神作興を叫んでゐる。衰微した琵琶の復興を悲願として昭和十五年の春に創刊したのが本紙「芸の友」で流派の別なく全国愛琵琶家へ呼びかけ決起を促したものだ。これについて一番困ったのは琵琶人の消息や居所の不明で全く連絡がつかぬ。四絃子は朝鮮京城に在在二十九年間に琵琶関係二十八年でこの間に日本内地の琵琶名手と文通連絡や朝津を訪問された有名人が少数あり東京や大阪に在住されているのが手懸りとなった。爾來健闘二十二年余不屈の精神が今日の琵琶復興を現示させるに至った。然し琵琶界は自我自尊心が強く融和協調心が薄く、互譲互譲の精神に立脚し、覚悟を超越して大同団結し強力な琵琶団体を一日も早く結成し本来の琵琶精神を高揚して健全な社会風貌に尽すべきである。昨冬筑前琵琶宗家三世橋旭翁師が逝去され日本旭翁師が行われて故師の冥福に光明が放った。橋宗家四代は故師の令息定利氏が旭翁の号で継承されるといふ。橋宗家故師の後継者として、橋宗家四代は故師の令息の役に男子が多いのが心強い。八洲流の安部旭宗家の三代の様に有名無実力では流祖に対して面目なからう。最も宗家とか家元の名前は大部分が自称だが斯界の慣習

橋会全国大会
五月五日京都

筑前琵琶の真名人と称えられた橋宗家橋旭翁師逝いて早や六年その遺業は全国の門下によって継承され、追悼会以後は毎年全国大会として日本橋会主催で統一実行されつつあるが、本年は開催地が京都と決定し五月五日に挙行される事となった。京都では明治維新前千年に亘る王城の地で、名所旧蹟に富む日本人の古郷と伝えられる大都會である。明治、大正年代の京都には琵琶界の高名大家が多く住まわれたが現在有名名家が少なくなつて、現存も想像されるが、兎も角成功するべく全員の努力を切望する。

詩吟、吟舞 菊水流 両刀の名剣 悠光宗家披露会

華麗舞台好人気

一月二十八日午後一時に東京日本橋三越本店前の第一証券ホールにて開催された菊水流本部の詩吟宗家菅根悠光師の改号披露吟詠舞大会は、ボカボカした快晴の春日和に恵まれて悠光の幸運を祝福する瑞祥を表現する如く、また愛好者の出足を促すにも似ている。菊水流は吟舞の巨星永田吟詠女史を宗家として新界に飛躍され名聲を揚げて来たが、吟舞師の夫君菅根嶺風菊水流本部会長が今般改号と同時に吟詠宗家を名乗られたので、菊水流は御夫妻で両刀の名剣を表面化し共に司権の座に就いた型となった。この披露が初陽に輝やく新春の二十八日であるから一段の意義がある。会は会詩吟吟に始まり、独吟、吟舞、吟詠、と各数番宛の出演があつて会員伝者への免状授与式が行われ、場内に喜色漂ふ。吟詠吟舞十数番が上演されると来賓の祝辞が披露され、更に来賓水藤錦穂名人の琵琶一曲垣平九郎の出演でその至妙さに満場を深感させ拍手を捲き起す。演技は更に吟と舞の華やかな場面をくり返つて進行し、大野恵造氏の祝辞あつて当日の主題である「かぶと」の上演となった。吟詠根悠光、舞永田吟詠、伴奏堀井小二郎社中、全観衆期待の一場だけに素晴らしい緊張感で好評を博した。演奏は更に望月暉江、中村露

晴風新年会賑う

調物語琵琶の權威で、東京四界の巨匠浅野晴風師統率の晴風の新年初演会は、一月二十三日午後一時より四時半まで杉並区立高円寺会館にて開かれた。快晴に恵まれた此日は浅野会長が序演を勤め「重衡」の大熱演を始め佐藤(桜府)、森田(羽衣)、山口(静)、坂入(山科の別れ)、富田(城山)、原島(湖水乗切)、大関(湯湯江)、青木(奇縁)、加藤(川中島)、浜松市の中村(吟小橋公)、山口(坂方境)、山下(新曲橋下段)等各各自重された妙技があり聴衆も多く、盛んな声援もあり賑つた。同会の三月例会は十八日同じ高円寺会館にて催すと。

振興会の新年会 老人級で大賑い

弾き手の達人鈴木流泉師が会長の日山琵琶振興会の新年初演会と懇親会は、一月二十二日午後一時より渋谷区千駄ヶ谷の鳩森八幡宮の結婚式会場に於て催された。この日大寒中と言ふのに晴れ上つた四月半頃の暖かさで散歩向きの好日和、参加者もお年寄り連が多く

東京橋会新年会

筑前琵琶東京橋会の新年初演会は一月二十八日午前十一時より杉並区成田西二丁目六ノ三の山元旭錦宗師宅で催された。同邸は昨年十二月月中旬新築完成したばかりで木の香高々清々しい青畳約三十畳の二階広間が会場に当てられた。この日快晴の好天で寒中というのに珍らしい暖かさで全くの春日和であった。出席者は山元宗師始め角田旭琴、上山旭寿、吉益旭扇、木下旭竜、山田旭芳、押川旭葉、松村旭奎、膳場旭竜、中島旭晋、稲葉旭隆、丸山旭壮、大家旭峯改

正絃会の新年会

薩摩琵琶正絃会の一月初演会は、十六日午後〇時半より愛宕山料理業根で開かれ、須田誠舟氏の「吉野落」を序奏に、柏木眞道(旅順口)、辻晴剛(武蔵野)、八東一峯(湯湯江)、田辺錦波(國船)、山本嶺舟(春日野)、前田秋声(石堂丸)、池野谷吟岫(形見の桜)、三木絃(風林火山)、曾我龍城(風林火山下)、吉成登城(蓬萊山)、仲川秀邦(春の調

神戸支部新年会

錦心流琵琶一水会神戸支部では支部長藤木水師が入院中ではあるが恒例により支部の新年初演会を一月十六日西宮市の松下ホールの大広間で開催した。この日快晴の暖かさに恵まれ、地元会員の大阪支部及び広瀬水師門下の有志等も参加されその数三十余名に及んだ。三浦運水師が蔵本支部に代つて挨拶され、謹初めに移る。先ず運水会員の詩吟(富士山)の吟詠を先番に、琵琶、詩吟と数番演奏して新春の盛んな意気を示し、拍手の渦を巻きおこした。主な出演者は三浦運水、広瀬水、小川吟水、久内舟水、竹内優水、森中志水、松岡玲水、田村吟魁、藤可真、田中輝雄、松原礼水、近藤登水、樋口露水の諸氏であった。一水会神戸支部顧問松野紫雲先生より有益な訓話を承り又興味多い福引の余興もあつて和やかな雰囲気になり半日を楽んだ。

前田秋声師が 今秋名古屋出演

名古屋の生んだ薩調派の芸家前田秋声師は、現在東京琵琶の大家として活躍されているが、師は今秋の純友会が行う故三輪純水師追善会へ特別出演として十数年振り出演される事が内定したと。

曾我龍城師作詞 発表琵琶演奏会

三月二十六日一時
鎌倉能舞台にて



(曾我龍城師)

本紙上に暫々新作琵琶歌を紹介発表される曾我龍城師の作詞は、既に百余作に及んでいる。師は鎌倉市長谷に住み薩調四絃の名手で往年は新聞記者として一時活躍されしだけに文才に長じ古来の研究にも意を強め、自ら作詞作曲され鎌倉琵琶一世と名乗り新界の発展に寄与されつつある快気に富んだ湘南界の元老でもある。

今回永年の親友である湘南四絃界の大家で横須賀琵琶連盟会長山田幻水老、逗子絃和会々々長で一水会連葉支部長平野紅水師並に東京芸の友社鈴木善士社長等の肝入りで曾我龍城師の琵琶歌発表演奏会を始めて公演されることになり、前記三人が後援となり三月二十六日午後一時より五時まで鎌倉市桑谷に新築された鎌倉能舞台に於て開催される。当日は永年に亘り曾我師より指導または援助されている横須賀地区の絃友が挙つて協力支援され出演される外、東京の大家桑名洲聖師と大阪筑前琵琶の名人山崎旭華師が特別出演として

彼ノ矢洲友師 教授披露琵琶会

四月十六日開く

湘南地方への初出演されると。この日山崎、桑名師を除く各名手の奏曲は全部曾我師の作歌を演奏されるが各自作曲として興味を増すであろう。出演者と曲目次の通り。鶴ヶ岡異変 末吉希水 ▲稲村ヶ崎 瀬谷香水 ▲田楽狭間 鈴木江水 ▲噺姫百合の塔 土橋映水 ▲不如帰 高橋旺水 ▲真白き富士の嶺 三木絃 ▲茶道韻四季の眺 石井榮水 ▲風林火山 齋藤珠水 ▲洞爺丸哀話永久のさすらい 平野紅水 ▲衣笠城 山田幻水 ▲(特別出演)常盤御前 桑名洲聖 ▲安宅 山崎旭華。以上の番組で公演されるが、曾我龍城師は当代関東では稀な琵琶の作詞家であり、鎌倉には十五年間に及ぶ鎌倉宮大塔宮祭典の琵琶献奏の敬神家で、市の名士として知られ、当日の盛況が想像されるであろう。この日芸の友社鈴木社長もご挨拶される。

予告

四月二十日

筑前紅会公演

会場 三越劇場

東北一の大都市仙台は、日本三景の一である松島の景勝と塩釜の海産物市場を間近にして伊達藩六十二万石の城下街であり、往年は琵琶も盛んであった。現在同地に錦心流琵琶の元老半田錦宗師が本拠を構え永年に亘り斯道のため活躍されている。また菅野有水氏始め中堅名手が一水会の選手として健闘されているが、仙台の春を色彩する情緒豊かな音楽を市民にこの配慮から各流琵琶大演奏会の企画が起り、桜花と研を競う四月十六日頃に開催の予定である。この会には東京より当代新界第一級の巨匠水藤錦穂、谷暉水、小山田貴

水、浅野晴風、桑原敬水の一騎当千の名將と、筑前派の名花押川旭葉、薩調派の山崎典水、水藤五郎その他の名手を招聘し、地元より半田元老、菅野氏等と外数名が出演して真技を競い邦楽琵琶芸術を充分堪能して貰うと言う。このため会場も日立センターを予定してあるとの情報である。

都錦穂さんが 五月琵琶会開く

東京の琵琶に錦心派、錦、輝水会と三派に活躍し、女流の大家と名声高い都錦穂さんは、三年程前から若い娘さんの希望にて琵琶の指導を始められたが、目下七、八名の若い方々は非常に熱心であり、筋も良く、また上達も早いので、その方々を励ますために陽春

予告

四月十六日 午後一時
開演

彼ノ矢洲友 教授披露琵琶会

東京日本橋
第一証券ホール

日時 三月二十六日(午後一時~五時)
会場 鎌倉市桑谷 鎌倉能舞台

曾我龍城作 琵琶歌発表会

(特別出演) 主催 曾我龍城
東京、桑名洲聖 後援 山田幻水
大阪、山崎旭華 後援 平野紅水
友社 友社

愛琵琶さんへ良きお年玉

鶴田錦史 水藤錦穂 両名人の放送

毎日正月夜の興奮のとき

愛冬寒とまで言われる温かさ... 鶴田錦史と水藤錦穂の放送...

とされた海の戦いの曲に最適であり... 輝水会本部の新年会は大賑い...



(福沢立枝さん)

後四時半終演。直ちに新年の祝宴... 静岡市琵琶界の大家森鶴堂師が...

山元錦城師指導 錦城会全国大会

四月廿三日彦根

現代の吟詠界に女流宗家として... 静岡市琵琶界の大家森鶴堂師が...

静岡久能山の 東照宮奉納琵琶会

四月三日に行う

静岡市琵琶界の大家森鶴堂師が... 晴風会三月例会...

晴風会三月例会

東京琵琶の巨星浅野晴風師は... 転居お知らせ...

転居お知らせ... 望月啞江...

望月啞江... 千葉市川市官野...

紅会の出演決定

東京琵琶の名物となった筑前琵琶紅会は、巨匠押田旭翁と中樞...

望月啞江師転居

東京の四故会に於ける薩調派の... 望月啞江師は、今同千葉市川市官野...

柴田師母娘活躍

関西に於ける琵琶一家として有名な神戸の柴田旭堂師家は、故父...

湘南琵琶連新年会

横須賀琵琶連盟、一水会横須賀支部、一水会選葉支部の合同新年会...

都錦穂師 琵琶大会

五月六日三時開演... 証券会館ホール...

証券会館ホール

予告

五月六日三時開演... 都錦穂師 琵琶大会...

名流の真価高揚

研精会公演成功

錦、筑前、錦心三派の權威と首脳級大家で組織されている東京の研精会...

予告

四月三十日は 笹川鎮江師 リサイタル 会場 日生劇場



(針谷錦古師)

緊張した熱演が高く評価されよう。仲川秀邦(清水一角)さんの歌は、吾妻氏の絃での熱演...

針谷錦古師が優勝

芸能家は一流人または花形ともなれば、自己芸力の保存とか試練のため又は宣伝用としてのレコード吹込みを行うのが現代人の在り方...

故窪田師追善会

輝水会山梨県支部長で大家の名声高かった窪田錦翁師逝いて三年... 故窪田師追善会が甲府で行わ...

